

読書に親しむための環境づくり  
～読書指導、委員会活動における「いわ100」の活用を通して～

久慈市立大川目中学校

目的  
趣旨

生徒が読書に親しむための環境づくりの手立てとして「いわ100」を活用すること。

対象

大川目中学校  
全校生徒

学校・児童・生徒の様子



日常的に生徒が読書に親しむための環境の充実に向けて、蔵書数の確保やコーナーの設置、また公立図書館との連携による移動図書の活用等の取組を行っています。

生徒のアイデアや自主性を尊重した委員会活動に努め、掲示や図書整理、コーナー設置等により、読書推進を図っています。

今年度は職員室前に、図書貸出の特設コーナーを設置しました。生徒のみならず職員にも大変好評で、貸出冊数も増加しています。

取組概要

＜読書指導での活用＞

1学年の国語の授業において「いわ100」を紹介するとともに、掲載されている本の内容の紹介や、学校図書館に蔵書されている本の紹介を行いました。

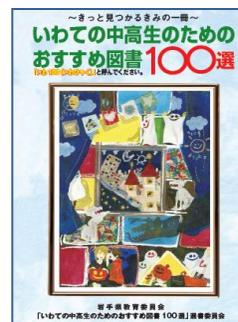
また、各教室に設置している学級文庫にも、掲載本を配架し、生徒が「いわ100」の本に親しめるようにしています。

小学生向けの児童図書に親しんできた1年生にとって、中学校の図書館にある本は内容が難しいと感じる生徒もあり、そのような生徒にも手に取りやすい本かどうかを考慮しながら学級文庫へ配架しています。中学生としての発達段階に相応しい読書活動をしてほしいという願いのもと、「いわ100」を活用することで、読書の選択肢が広がり、幅広いジャンルの本に親しむきっかけとなっています。

＜学校図書館への配架＞

図書委員会の活動として、校内の学校図書館に「いわ100」コーナーを設置し、PRしながら貸出を行っています。

図書コーナーに「いわ100」だけではなく、季節やタイムリーな話題をテーマとしてお薦めの本を紹介するなど、1ヶ月に1回模様替えをしています。



● 学校から（取組の成果と今後について）

生徒が読書に親しむための環境づくりにおいて、「いわ100」が果たす役割は大変大きいと感じました。今後は常設コーナーの設置や学習活動における多様な活用方法についても考えていきたいです。

また、本校は小規模校であり図書購入予算も少ないことから、公立図書館のサービスの活用や連携等を通して、生徒の読書活動推進に努めていきたいです。